

会 議 録

会 議 名	平成 29 年度 第 2 回図書館協議会
開 催 日 時	平成 29 年 12 月 18 日 午後 2 時～午後 3 時 40 分
場 所	辰野町立辰野図書館 1 階ふれあいルーム
出 席 者	委員 6 名中 6 名、事務局 3 名 計 9 名
会 議 次 第	<p>進行 生涯学習課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会のことば 2. 教育長あいさつ 3. 協議事項（進行 会長） <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 29 年度図書館まつり報告 2) 平成 29 年度図書館利用状況 3) 平成 30 年度予算・事業計画 4) その他 4. 閉会のことば
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> 3. 協議事項（進行 会長） <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 29 年度図書館まつり報告 2) 平成 29 年度図書館利用状況 3) 平成 30 年度予算・事業計画 4) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①図書寄贈のお申し出について ②小野図書館の存続について <p>1)～4) について、事務局から説明し、質疑を経てご了承いただく。</p>
発 言 者	発言の内容
会 長	<p>協議事項 1) 平成 29 年度図書館まつり報告 2) 平成 29 年度図書館利用状況</p> <p>について事務局から説明があったが、質問などお出しいただきたい。</p>
教 育 長	<p>2) 利用状況で、入館者を含め減少傾向であることは残念だし、数字は上げていく努力はしなければならないが、11 月末時点で 4 万人を超える入館者数は、少ない数字ではないと感じる。今図書館が活動している内容などは決して否定されているわけではないだろう。</p>
A	<p>町内の他の施設と比較してどうなのだろう。よく利用されている施設ではないだろうか？（事務局注 H28 実績 美術館入館者 7,313 名 町民会館利用者 53,276 名 図書館入館者 67,068 名、図書館利用者 22,725 名）</p>
事 務 局	<p>図書館の存在、また図書館まつり等のイベントが定着してきたという感触はある。図書館まつりも、今年は講師の都合で 1 週間遅らせて開催したが、10 月中旬から除籍本リサイクルなどへの問い合わせが目立った。</p> <p>入館者数、利用者数、貸出冊数など、数字は、活動を評価する一つの要素ではあるが、数字がすべてではないので、数字に縛られるというか、プレッシャーを感じるという側面がある。</p>
F	<p>小学校図書館では、冊数という数字で見ると落ちてきている。ただ、それが読書量の減少ということではない。数字がおちた中身を検証することが大切だ。当校で</p>

	<p>は、2年生ごろから厚い本をどんどん読めるようになってきている。読み応えのある厚い本を読むようになればなるほど、回転は悪くなり、図書館への足は遠のく。これは現場を預かるものとしての実感だ。子どもの数も少なくなっているの、数字だけで判断はできない。</p>
B	<p>昨年までは頻繁に利用していたが、岩波書店の窮状をお聞きするなどして、新書や文庫など自身で購入できるものはなるべく購入している。新刊書なども順番待ちになってしまうので、やはり購入することが多い。</p> <p>一方で家人は、退職後、2週間に1回は利用しているようだ。新刊書にこだわらず、図書館の棚を逍遙することで、新しい発見や出会いがあるようだ。</p> <p>リタイア後図書館に通うという人が増えていってほしいし、その流れの中で、たとえば朗読会といった催しが自然発生的に行えたりすると、楽しみともなる。</p>
E	<p>保育園は、とにかく移動図書が楽しみだ。月1回4冊で済ませている家庭が多いのではないと思う。</p> <p>ふだんの土日は図書館へなかなか足を運べないお家でも、図書館まつりのような催しの際に図書館へ行くことができる。</p>
D	<p>利用者は子どもが多いのか。またリタイア後の男性の受け入れは図書館としてはどのような状況か。</p>
事務局	<p>利用者の内訳は、年代では、10歳ぐらいまでの児童と、60代からが多い。特に最近、退職後の男性の姿が目立つ。</p> <p>(事務局注 H28年利用統計利用者数 19,286名 うち、12歳以下 6,076名 ※移動図書含む 61歳以上 5,642名)</p> <p>60代の男性向けには、購読新聞や雑誌を増やしてきた。図書資料では、歴史、地理、社会(資産運用等)といったジャンルを心がけて所蔵するようにしている。</p> <p>ただ、職員が全員女性であることから、視点として欠けてしまうものがあるかもしれない。</p>
B	<p>図書館で購読している雑誌に、一般の書店では見かけないようなタイトルの文芸雑誌なども入っていて嬉しく思う。</p>
F	<p>学校図書館では対応できなかったり、人気で貸出中の資料を、町の図書館で借りるという児童もある。また、先日3学年1クラスが、授業の時間にお邪魔したが、そのクラス利用の後、個人利用につながっていく家庭もあるようだ。こういう取り組みもいいと感じているので、先生方にもお話していきたい。</p>
B	<p>自分が子育てしていた頃は、閉塞感を打開する一つの場所として図書館を利用したが、今はどんな風なのだろうか。</p>
事務局	<p>5年ほど前に比べて、子連れの母親が減ってきているというのが実感。ほとんどの母親が働いている様子でもあるし、サービス業などに従事している家庭も多く、図書館に通う習慣が定着しにくい状況があるのではと推察する。</p> <p>一方、土日に父親が子どもを連れてくる姿が増えてきている。母親は土日に家事をこなし、父親が図書館通いの役割を果たしているのかとも推察できる。それはそれで好ましい傾向だと思う。</p>
E	<p>小さい子どもを持っているお母さん達にとっては、支援センターが入りやすいのではないだろうか？終日滞在できるし、保育士さんもいる。</p>
E	<p>子どもに惹かれて親もまた図書館利用者になってくれればいいと思う。</p>
課長	<p>自分の娘も、この図書館くらいの規模が入りやすいという感想を述べていた。図書館に連れてくるというのは、親にもズクがいることだが、小さいころから経験し</p>

	て親しめれば図書館というのはとてもいいスペースだろう。
事務局	学校現場が多忙であることは重々承知してはいるが、学校でのクラス単位の利用に期待するものは大きい。
会長	3) 平成30年度予算・事業計画について、説明があったが質疑をお願いしたい。
A	相互貸借の郵送料の値上がりは、図書館サイドではコントロールできない事柄ではあるが、こうなった場合の個人負担などは考えられないか。
事務局	図書館法による規程がある。 (事務局注 図書館法17条「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。」) 資料の提供にあたっては、無料の原則を貫かなければという思いはある。ただ、リクエストの質に、戸惑いを覚えるケースが増えてきている。 先ほどB委員から、自分で購入できるものは自分で購入するという発言があった。調査研究、絶版入手不可といったものについては、躊躇なくその手続きをとれるが、とりわけ、文庫、新書といったいわば安価なもの、また、低質なミステリー、ホラー、ノワール、ノベライズなどのリクエストに対しては、ご自身での購入をお願いしたいという思いを持つこともある。公費を費やしてまで応えることへの葛藤もある。
A	図書館法が成立当時には、まだこれほど相互貸借といったシステムが定着していなかったのではないだろうか？
課長	リクエストはどういう利用者が多いか。固定しているのかどうか。
事務局	一概に言い切れないが、図書館利用に習熟した一部の利用者は頻繁にリクエストをする。もちろん、必要に駆られてリクエストを出す利用者も多い。 これだけの値上がりになると、郡内の広域の物流に相乗りするなどの方策を講じる必要もあるかと思われる。県立図書館や、郡内の図書館とも連携を取り合って対策を講じていきたい。
会長	事業計画のうち夏の講演会の講師について、補足したい。 以前に、協議会の席上で関千枝子さんをご紹介した。関さんは、投下当日体調不良で登校しなかったことで、自身は生きのびることができたが、多くの級友を失った経験をしている被爆者だ。都内在住だが、高齢でもあり、体調が心配される。関さんがご無理であればICANのノーベル平和賞受賞式に列席した、茅野市在住の被団協(日本原水爆被害者団体協議会)事務局次長 藤森俊希さんに、基調報告を兼ねてお聞きしたいと考えている。
B	是非お聞きしたい。ノーベル平和賞受賞式でのサーロー節子さんの講演に感銘を受けた。今年核兵器禁止条約が成立した。この条約に参加しない国の中に日本も入っている。被爆国の政府として、こういう活動にもう少し敬意を表すべきではないかと不思議に思う。
事務局	辰野町は平和都市宣言を行っている。 (事務局注 平和都市及び核非武装宣言 (昭和33年7月15日議決) 平和都市宣言 (昭和59年12月21日議決)) ここ2年ほど議会で平和都市宣言等に関わって町としての取り組みが一般質問で取り上げられている。当時の町長は「自ら旗を振るのではなく、取り組みを支援していきたい」と答弁している。図書館は毎年夏に、平和や戦争にかかわる取り組みをしてきているので、町の施設として是非実現をしていきたい。
会長	4) その他について事務局からお願いしたい。

事務局	①図書寄贈のお申し出について、委員の皆様方のご意見やお考えを聞きしたい。
D	今まで、個人文庫としてこのように受け入れた例があるのかどうか。これを受け入れてしまえば前例となってしまう事が懸念される。
事務局	例はない。全集や、著作の寄贈はあるが、1冊も欠かさず蔵書をそっくりそのまま受贈してほしいという申し出は初めてのことだ。 また〇〇文庫とった、寄贈者の名をつける文庫は、現金をご寄贈いただき、それによって買ったコレクションにつけているのが一般的だ。
B	貴重な資料というお話だが、原本のようなものも含まれるのか。
A	おそらくは、研究資料ということだろう。貴重な原本などは含まれていないと思われる。
F	ご本人が帰郷された後のバックボーンとして図書館に所蔵してほしいということが一番の狙いではないかという感が否めない。
C	たまたま近所にいるが、そのお宅は現在無人となっている。詳らかには知らないが、防犯上事故があったようなことを見聞きしている。 ハイレベルな研究資料ということであれば、教授を歴任した大学や出身校などへの寄贈が一番適切ではないだろうか。
A	地元短大には、その方面を研究する教授が今はいないようだ。また、出身高校などは、研究者を多く輩出しているので、受け入れはなかなか難しいと思われる。
事務局	お申し出いただいた際に、そういったハイレベルな資料は、私どものような公共図書館には身に余るというお話もした。
教育長	百歩譲って、地元に着くだけで良いというのであれば、本人の意向から離れてしまうかもしれないが、両小野小学校や、両小野中学校におくという方法も考えられはする。
会長	代理の方からのお申し出ということなので、本人の意向を確認する必要もあるのかもしれないが、 ・ 目録などを作成していただいたうえで、受贈できる図書は図書館が判断する。 ・ 経費的にかなり負担がかかる。 ・ 現況ではスペースを割けない。 この3点をご理解いただいて、現時点では受贈はできない旨を伝えることが今の時点ではベストではないか。 教育委員会からの対応をお願いしたい。
課長	その他②小野図書館の存続についてお願いしたい。 だ。平成27年度あり方懇談会の協議を経て、町長、教育長あてに要望書が提出されている。町としても結論を出していかなければならない。今後教育委員会などでも協議をして、方向性を打ち出していく予定なのでご理解をいただきたい。
会長	全体を通してご意見などなければこれで閉会としたい。 熱心にご協議いただきありがとうございますありがとうございました。